

# 2023年6月29日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER   
driven by Mist AI

# はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/june-29th-2023-updates/>

本ドキュメントは2023年6月時点のMist cloudのGUIを使用しております

- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等がございましたら担当営業までお問い合わせください

# 本リリースで追加された機能一覧

## WAN Assurance

- MistクラウドへのCradlepoint社NetCloudのインテグレーション
- WANエッジの交換（SSR、SRX）

## Simplified Operations

- アラートページの改良
- Mistアクセスアシュアランスでの新認証ポリシーラベルの付加
- サブスクリプションへの備考付加

## Wired Assurance

- ルータIDとVRF毎のループバックインタフェースの自動設定
- キャンパスファブリックでのDHCPリレー設定
- キャンパスファブリックのポートパネル内でのポート状態の確認
- OSPFの設定と監視

## Security Alerts

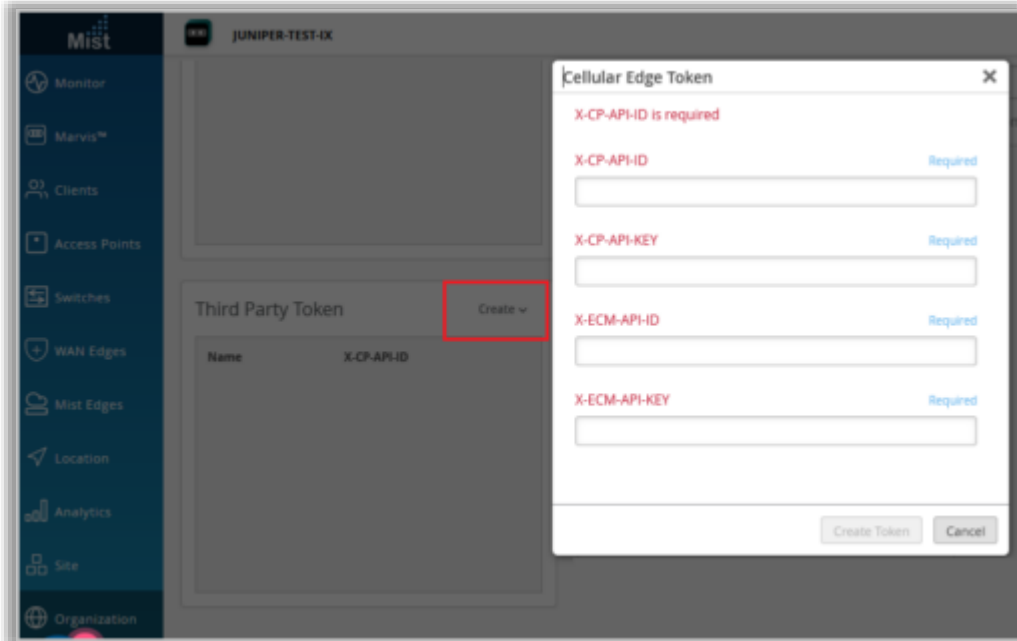
- CBCモードでの暗号スイート（Cipher Suite）のサポート終了

# WAN Assurance

# MistクラウドへのCradlepoint社NetCloudのインテグレーション

- Cradlepoint社のNetCloud ManagerアカウントをMistクラウドへ組み込むことができるようになりました
- Mistクラウドで以下の内容を実施できます
  - Cradlepoint社機器（5G WANアダプタ）のMistポータルへの登録
  - Mistサイトへの機器の割り当て
  - インベントリの詳細確認
  - Cradlepoint社機器で発生したイベントのインサイト
- ブランチWANアダプタのインサイトが確認できることにより、Mistのクライアント～クラウド間のユーザエクスペリエンスの向上とMTTI（Mean Time To Identify）の削減が可能です
- NetCloud ManagerアカウントをMistクラウドへ組み込むには、有効なMarvisサブスクリプションを保持している必要があります
- Cradlepoint社機器を追加したいサイトに必ず1台以上のMist機器がデプロイされている必要があります
- 以下のCradlepoint社機器をMistポータルはサポートしています
  - W1850、W2005、W2000、W4005、E300、E3000

# MistクラウドへのCradlepoint社NetCloudのインテグレーション（続き）



- NetCloud ManagerアカウントをMistクラウドに組み込むために、以下のAPIキーをNetCloudから取得し、Mist組織（Organization）に Cellular Edgeトークンとして登録します（左図）

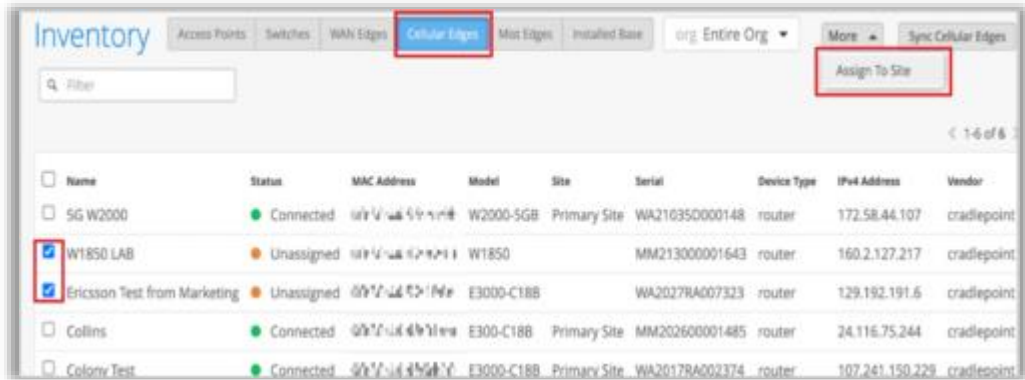
- X-CP-API-ID
- X-CP-API-KEY
- X-ECM-API-ID
- X-ECM-API-KEY

NetCloudのAPIキーに関しましては以下のサイトをご覧ください：

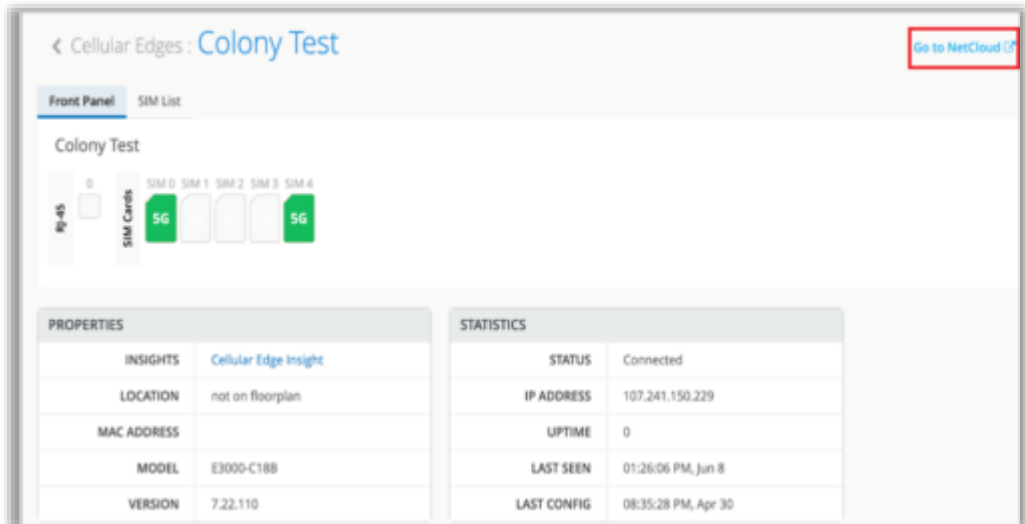
<https://customer.cradlepoint.com/s/article/NCM-APIv2-Overview#Obtaining-API-Keys>

- Cellular EdgeトークンはOrganization > Settings > Third Party Tokenで追加します
- Cellular Edgeトークンを組織（Organization）に追加すると、サポートされているCradlepoint社機器が自動的にMistポータルに登録されます

# MistクラウドへのCradlepoint社NetCloudのインテグレーション（続き）

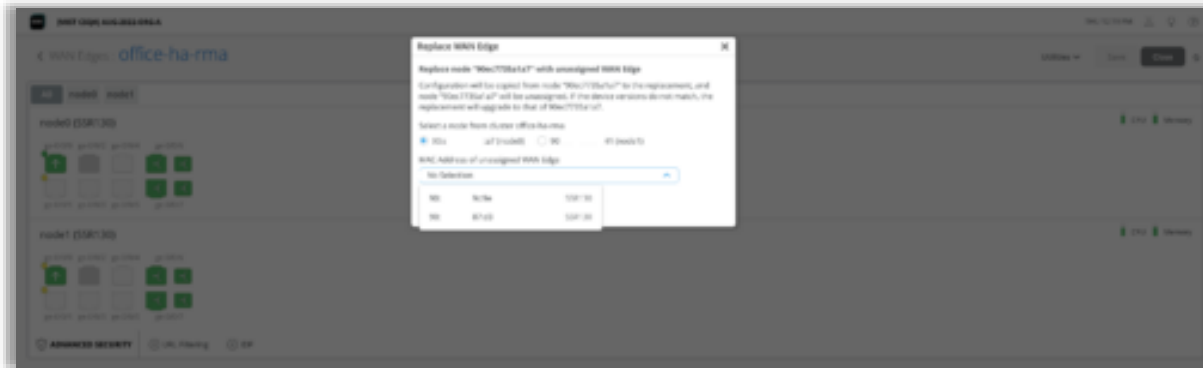


- 登録された Cradlepoint 社 機器の詳細は Organization > Inventory > Cellular Edgesから確認できます
- Cellular EdgeページでCradlepoint社機器情報が見られない場合は、インベントリページにある「Sync Cellular Edges」ボタンをクリックください
- Moreの選択オプション「Assign to Site」をクリックするとCradlepoint社機器をサイトに割り当てることができます（左上図）



- Cradlepoint社機器の詳細ページはWAN Edges > Cellularに移動後、リストから機器を選択ください
- 機器の詳細ページでは、機器の詳細だけでなく、NetCloudダッシュボードへアクセスできるリンクもあります（左下図）

# WANエッジの交換（SSR、SRX）



- 既に稼働しているWANエッジを新しい機器に交換できます
- クラスタを構築している機器を交換する際は多少のネットワークへの影響があるため、事前に交換日時（メンテナンスウィンドウ）を設定することを推奨します
- 新しく交換する機器のJunosバージョンが、稼働しているクラスタのもう一つの機器（ノード）と同じバージョンであることを確認ください
- WANエッジを交換するには、WANエッジダッシュボード（WAN Edges > WAN Edges > List > WANエッジ名）のユーティリティメニューから「Replace WAN Edge」を選択ください（左図）

注：交換する機器は、それまで稼働していた機器と同じモデルである必要があります

- 例：SSR120を新しいSSR120へ交換



# Simplified Operations

# アラートページの改良

The screenshot shows the Mist Alerts page with a summary dashboard at the top and a table of alerts below. The dashboard includes four cards: Alerts (544), Infrastructure (18), Marvis (5), and Security (521). Below these are filters for Critical, Warning, and Information. A search bar is located below the filters. The table below has columns for Alert, Site, Resource, First Seen, Last Seen, and Details. The Details column contains 'Site Insights' links. Red boxes highlight the summary cards, the search bar, and the 'Details' column.

Alert	Site	Resource	First Seen	Last Seen	Details
DNS Recovered	je Test	1	08/11 05:43:46 pm	08/11 05:43:46 pm	Site Insights
DNS Recovered	je Test	1	08/11 04:40:52 pm	08/11 04:40:52 pm	Site Insights
DNS Recovered	je Test	1	08/11 01:09:39 pm	08/11 01:09:39 pm	Site Insights
DNS Recovered	je Test	1	08/11 10:20:40 am	08/11 10:20:40 am	Site Insights
DNS Recovered	je Test	1	08/11 04:27:07 am	08/11 04:27:07 am	Site Insights
DNS Recovered	TRUE MIST OFFICE (STAGING)	1	08/11 04:17:25 am	08/11 04:17:25 am	Site Insights
DNS Recovered	TRUE MIST OFFICE (STAGING)	1	08/11 03:55:47 am	08/11 03:55:47 am	Site Insights

- 以下の機能をアラートページ (Monitor > Alerts) に追加しました (左図)
  - Group全体の状態確認
    - インフラストラクチャ、Marvis、セキュリティグループ単位でアラートをフィルタ、確認できます
  - ダウンロードアイコン
    - 「Download」アイコンをクリックすると、アラートの詳細をCSVファイル形式にてダウンロードできます (フィルタ機能を使用している場合は、選別されたアラートのみのダウンロードとなります)
  - 検索フィルタ
    - キーワードに基づくアラート検索と選別が可能です
  - 関連ページへのリンク
    - Detail列に、アラートに関連するMistポータルページへのリンクを表示します
      - Marvisアラートの場合 : Marvis Actionページ
      - インフラストラクチャアラートの場合 : 複数の機器で同じアラートが発生している場合はサイトインサイトのページ、1つの機器の場合はAP/スイッチ/WANエッジのページ
      - セキュリティアラートの場合 : ネットワークセキュリティページ (Site > Security)

# Mistアクセスアシュアランスでの新認証ポリシーラベルの付加

The screenshot shows the configuration page for a new authentication policy label in Mist Access Assurance. The page is titled "JUNIPER-TEST-IX". It contains three main sections:

- Label Name:** A text input field containing "New Label123".
- Label Type:** A dropdown menu currently set to "AAA Attribute". Below it is a descriptive text: "A group of RADIUS attributes that could be used in Match or Apply section of the Auth policy rule."
- Label Values:** A list of RADIUS attributes. The first item, "Custom Vendor Specific Attribute", is selected and highlighted in a light blue box. Below it, a red rectangular box highlights the following items: "Session Timeout", "Custom Vendor Specific Attribute", "Custom Standard RADIUS Attribute", and "Dynamic Wired Port Configuration".

- MistアクセスアシュアランスのOrganization > Auth Policy Labelで以下の新しい認証ラベルを設定できるようになりました（左図）
  - ベンダ固有属性をカスタマイズ
    - Access-Acceptメッセージで返すベンダ固有属性を設定します  
例：PaloAlto-Admin-Role=superuser
    - ラベルを選択後、「Add Attributes」をクリックします
  - 標準RADIUS属性をカスタマイズ
    - 標準IETF RADIUS属性を設定します  
例：Idle-Timeout=600  
Termination-Action=RADIUS-Request
    - ラベルを選択後、「Add Attributes」をクリックします

# Mistアクセスアシュアランスでの新認証ポリシーラベルの付加（続き）

The screenshot shows the configuration page for a new authentication policy label in the Mist Access Assurance interface. The page is titled "JUNIPER-TEST-IX".

- Label Name:** A text input field containing "New Label123".
- Label Type:** A dropdown menu set to "AAA Attribute". Below it, a note reads: "A group of RADIUS attributes that could be used in Match or Apply section of the Auth policy rule."
- Label Values:** A list of RADIUS attributes. The "Session Timeout" attribute is highlighted with a red box. Other visible attributes include "Custom Vendor Specific Attribute", "Role", "VLAN", "Realm", "User Name", "GBP Tag", "Custom Vendor Specific Attribute", "Custom Standard RADIUS Attribute", and "Dynamic Wired Port Configuration".

- ダイナミック有線ポート設定（左図）  
接続された機器情報に基づいて動的にポートを設定する目的です  
APを接続するトランクポートを動的に設定することに適しています
  - アクセスアシュアランスがAccess-AcceptメッセージのEgress-VLAN-Name RADIUS属性として返すVLAN名を設定します
  - VLAN名の最初に「1」を追加すると、VLANはタグ付けされます
  - VLAN名の最初に「2」を追加するとVLANはタグ無しになります  
例：「1corp-vlan」はタグ付けされたVLAN
  - VLAN名を追加後、「Add VLAN Name」をクリックします
- セッションタイムアウト
  - 再度コネクションを接続、または再度認証をする前に維持する最大ユーザセッション時間（秒）を設定します
  - 範囲：3600 ～ 604800

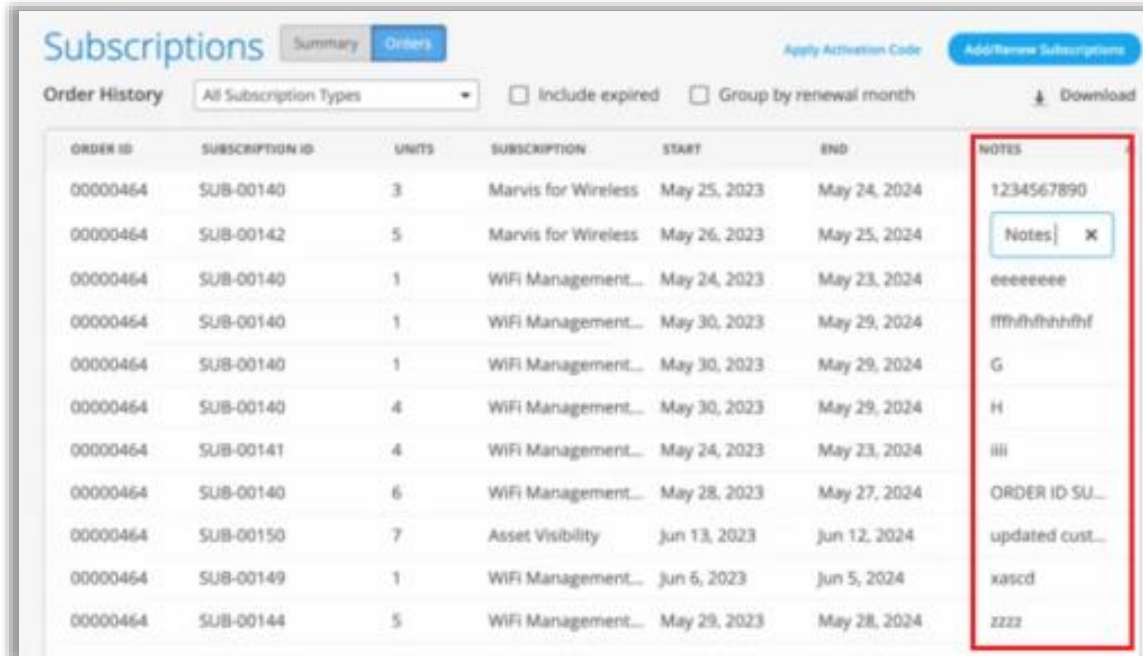
## Mistアクセスアシュアランスでの新認証ポリシーラベルの付加（続き）

- Auth Policy作成ページにもデフォルトのラベルAdmin Authを追加しています
  - 管理ユーザをネットワーク機器で認証するための判断基準として、このラベルを使用することができます  
例：JuniperスイッチのCLIへのユーザログイン
- Mistアクセスアシュアランスについては以下のサイトもご参照ください。  
<https://www.mist.com/documentation/category/mist-access-assurance/>

注：現時点ではアクセスアシュアランスの使用は限られています

当該機能の使用をご希望の方は担当営業までお問い合わせください

# サブスクリプションへの備考付加

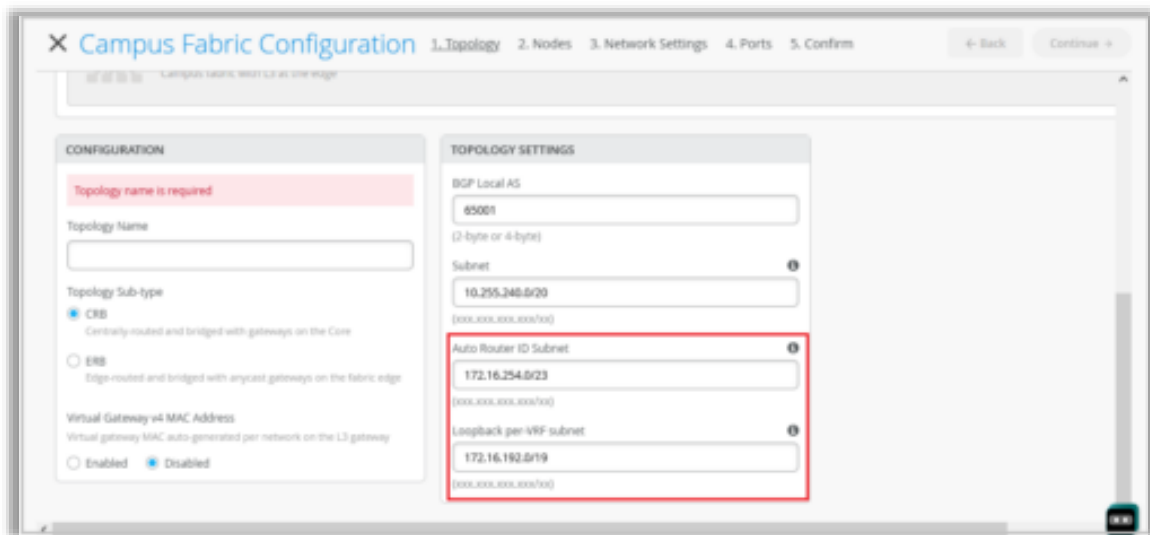


ORDER ID	SUBSCRIPTION ID	UNITS	SUBSCRIPTION	START	END	NOTES
00000464	SUB-00140	3	Marvis for Wireless	May 25, 2023	May 24, 2024	1234567890 Notes   ✕
00000464	SUB-00142	5	Marvis for Wireless	May 26, 2023	May 25, 2024	eeeeeeee
00000464	SUB-00140	1	WiFi Management...	May 24, 2023	May 23, 2024	ffhfhfhhf
00000464	SUB-00140	1	WiFi Management...	May 30, 2023	May 29, 2024	G
00000464	SUB-00140	1	WiFi Management...	May 30, 2023	May 29, 2024	H
00000464	SUB-00140	4	WiFi Management...	May 30, 2023	May 29, 2024	iii
00000464	SUB-00141	4	WiFi Management...	May 24, 2023	May 23, 2024	ORDER ID SU...
00000464	SUB-00140	6	WiFi Management...	May 28, 2023	May 27, 2024	updated cust...
00000464	SUB-00150	7	Asset Visibility	Jun 13, 2023	Jun 12, 2024	xascd
00000464	SUB-00149	1	WiFi Management...	Jun 5, 2023	Jun 5, 2024	zzzz
00000464	SUB-00144	5	WiFi Management...	May 29, 2023	May 28, 2024	

- Organization > Subscription > Ordersページのサブスクリプションに備考（ノート）を追加できるようになりました
- 備考により、サブスクリプションのトラッキング、管理がしやすくなります
- 備考を追加するには、備考を追加したいサブスクリプションのNotes列をクリックし、備考を入力ください（左図）

# Wired Assurance

# ルータIDとVRF毎のループバックインタフェースの自動設定



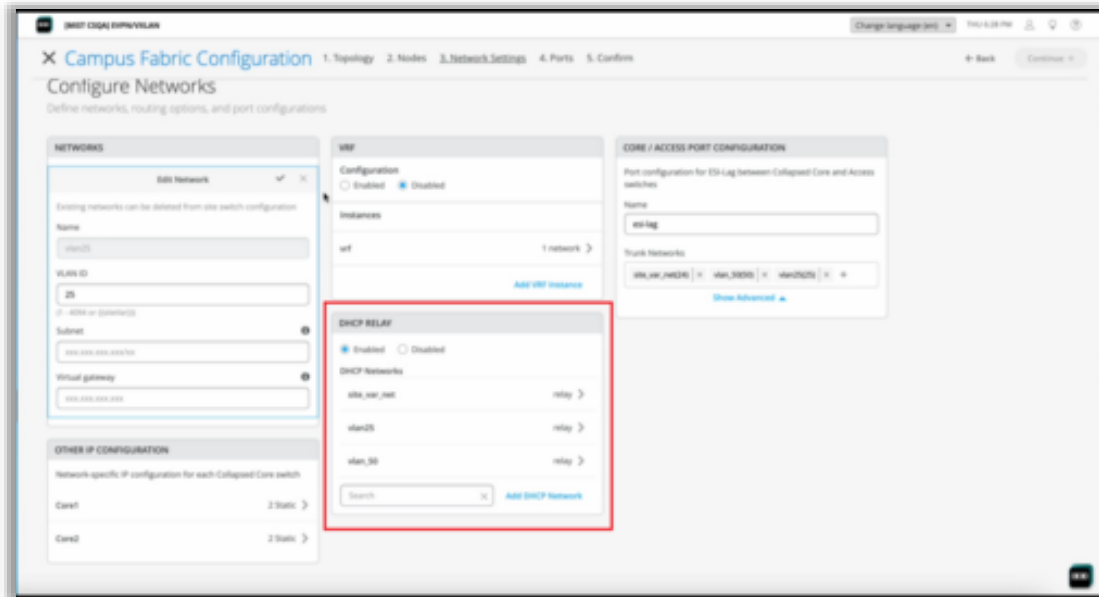
- キャンパスファブリックの設定ページにて以下のトポロジ設定を設定できるようになりました（Organization > Campus Fabric > Create Campus Fabric）（左図）
  - 自動ルータIDのサブネット
    - このサブネットはファブリック内で各機器にルータIDを自動的に割り当てる際に使用されます（EVPNの設定の有無にかかわらず、アクセス側の機器も自動でルータIDが割り当てられます）
    - ルータIDはルータのループバックインタフェース（lo0.0）に設定されたIPアドレスであり、機器間のオーバーレイピアリングに使用されます
    - 新しいトポロジでは、この項目はデフォルトで設定されますが、変更可能です（172.16.254.0/23）
    - 既存のトポロジでは、この項目によるデフォルト値自動割り当てはありません
  - VRF毎のループバックのサブネット
    - このサブネットはDHCPリレーなどのサービスに使われる、VRF毎のループバックインタフェース（lo0.x）を設定する際に使用されます
    - 新しいトポロジでは、この項目はデフォルトで設定されますが、変更可能です（172.16.192.0/19）
    - 既存のトポロジでは、この項目によるデフォルト値自動割り当てはありません

注：上記の設定とは別に、アンダーレイ用の自動ルータIDとVRF毎のループバックインタフェースのサブネットを設定する必要があります

オーバーレイ、アンダーレイのサブネットが重複してはいけません

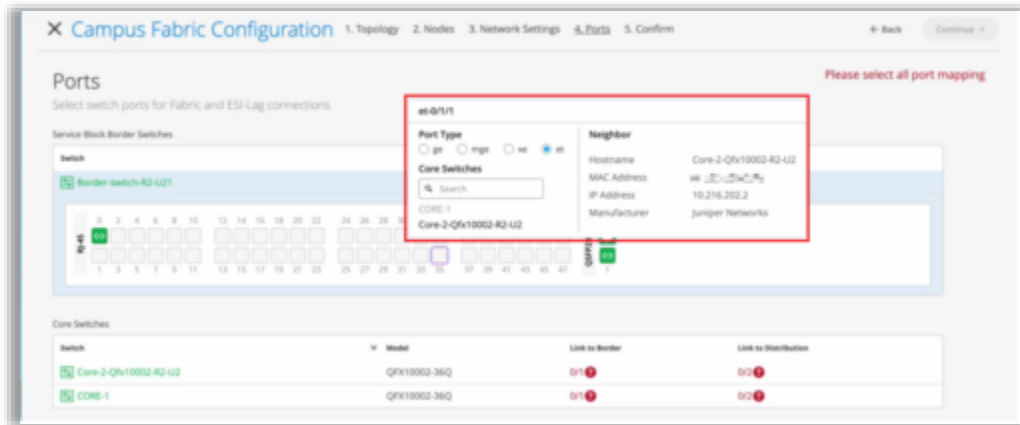


# キャンパスファブリックでのDHCPリレー設定



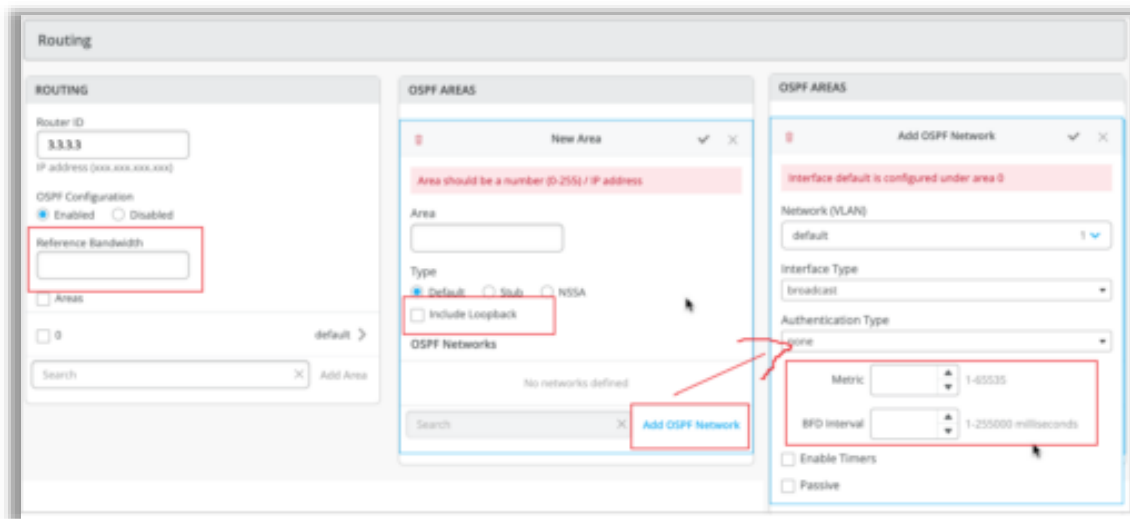
- キャンパスファブリック設定ページのネットワーク設定タブでDHCPリレーが設定できるようになりました（Organization > Campus Fabric）（左図）
- キャンパスファブリックでDHCPリレーが有効になっている場合、ゲートウェイ（L3境界）が設定されている機器でのみ設定されています
- 各キャンパスファブリックアーキテクチャでDHCPリレーが設定されている機器は以下となります
  - EVPNマルチホーミング：コラプスコア機器
  - CRB：コア機器
  - ERB：ディストリビューション機器
  - IPCLOSエッジ：アクセス機器

# キャンパスファブリックのポートパネル内でのポート状態の確認



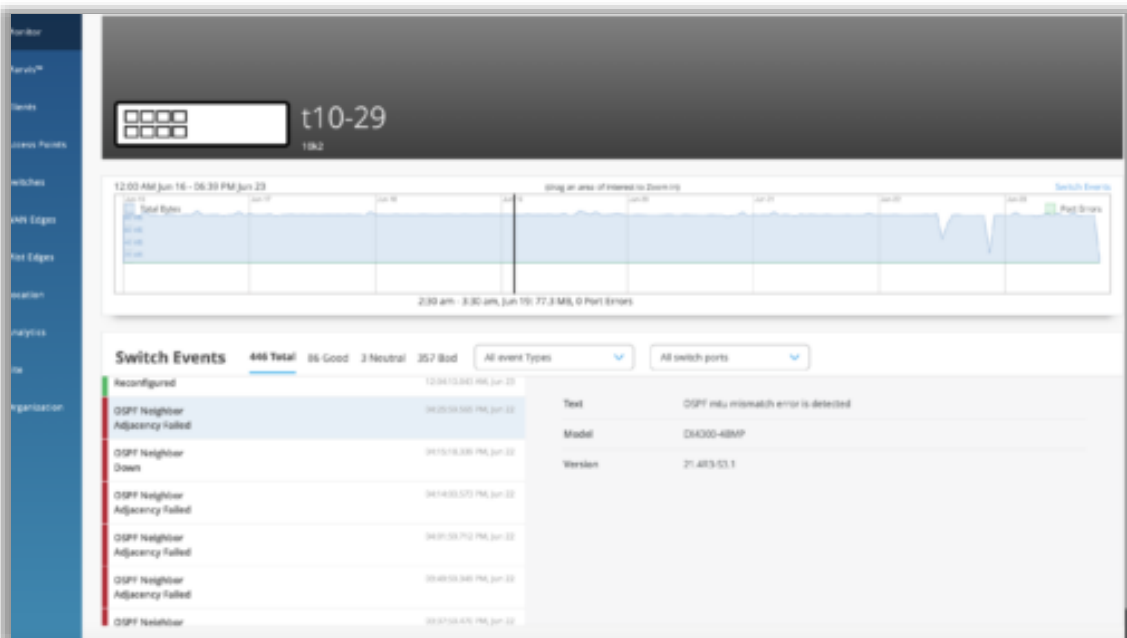
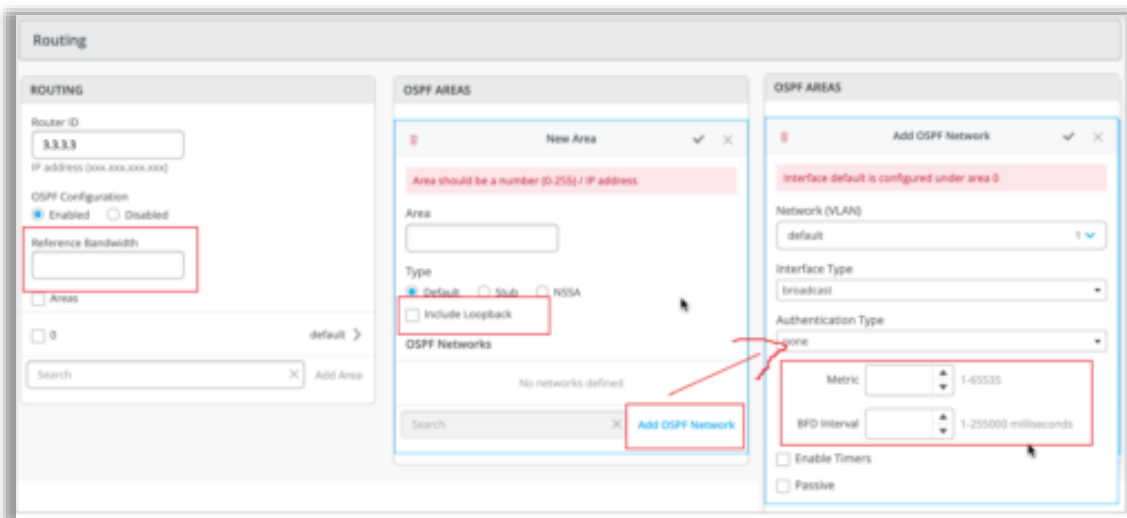
- キャンパスファブリック設定ページ（Organization > Campus Fabric）内のポートタブにて、ポートアイコン上にマウスカーソルを合わせると、当該ポートの状態を確認できるようになりました（左図）
- このポート状態の確認ビューはスイッチのダッシュボードにある、スイッチのフロントパネルポートのポート確認ビューと類似のものです
- ポートを選択するとネイバのホスト名、MACアドレス、IPアドレス、製造者などの詳細を確認することができます

# OSPFの設定と監視



- 以下のOSPF機能をスイッチに更に設定できるようになりました（左図）
  - ループバックの組み込み
    - この機能を有効にすると、OSPFエリアにループバックインタフェースを含めることができますようになります
    - ループバックインタフェース（lo0.0）はパケットの送信元を特定するためにOSPFで使用されています
    - この設定は以下のいずれかのページで設定可能です
      - 組織（Organization）レベル：スイッチテンプレート内のOSPF AREAS（Settings > Switch Templates）
      - サイトレベル：Sites > Switch Configuration
      - 機器レベル：Switches
  - OSPFメトリック
    - スイッチテンプレート内のOSPF AREASで設定します
    - 範囲：1～65535

## OSPFの設定と監視（続き）



- BFDインターバル
  - ピアとのHelloパケットやBFDパケットの送信間隔を設定できます
  - スイッチテンプレートのOSPF AREAS内にある「Add OSPF Network」をクリックし、設定します（左上図）
  - 範囲：1～255000（ミリ秒）
- OSPF参照帯域幅
  - デフォルトのインタフェースコストを計算する際に使用する参照帯域幅を設定できます
  - スイッチのダッシュボードのRouting内で設定します（左上図）
- スイッチインサイトページを改良し、以下のようなOSPFエラーを表示できるようになりました（左下図）
  - MTUミスマッチ、重複ルータID、エリア番号ミスマッチ、ネットマスクミスマッチ、エリアタイプミスマッチ、OSPFインタフェースタイプミスマッチ

# Security Alerts

# CBCモードでの暗号スイート（Cipher Suite）のサポート終了

- 以下の日時に、Mistは当社のクラウドエンドポイントにおいて、暗号ブロックチェーン（CBC）モードを用いた暗号スイートのサポートを終了します
  - 2023年7月19日午前9時PST（太平洋標準時）
- この暗号スイートはパディングオラクル攻撃などの攻撃を受けやすいことが知られており、データ漏洩などのセキュリティ問題につながる可能性があることが理由です
- 以下の日時にCBCモードの暗号スイートの試験停止を行います
  - 2023年7月6日午前10時PST（太平洋標準時）
- この試験停止は24時間持続されますので、この試験停止期間内にCBCモード暗号スイートのサポート終了がシステムに与える影響をご確認ください
- サポート終了に関する詳しい情報は以下のページをご覧ください。  
<https://www.mist.com/documentation/end-of-support-for-cipher-suites-using-the-cbc-mode/>

Thank you

